



三河武士のやかた家康館

岡崎城跡である岡崎公園内に位置する当館は、江戸幕府の創始者徳川家康公の遺徳を後世に伝え、その人間像及び苦難をともにした三河武士団の人間模様の探求と時代的背景に触れていただくことを目的として、昭和 57 年 11 月に開館しました。

常設展示室では歴史資料やコンピューターグラフィック、可動式ジオラマなどを通じて、家康公の生涯や三河武士の活躍に触れることができます。

また、特別展示室及び 1 階展示室において、年に数回企画展を開催し、収蔵品や三河の歴史文化などを中心に紹介しています。近年ではゲームやアニメとコラボレーションした展覧会も開催しています。

目 次

●愛知県博物館協会 令和 2 年度総会のご報告	2
●令和 2 年度 東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告	8
●令和 2 年度 研修会の報告 部門別研修会 1	9
●表紙館のご紹介	1 3

愛知県博物館協会 令和2年度総会のご報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に関して、政府や愛知県による緊急事態宣言の発令、愛知県の「特定警戒都道府県」の指定等を受け、当協会加盟の博物館施設の多くが、臨時休館や展覧会の中止・縮小、事業実施における感染防止対策の徹底を行う状況となった。

このような状況を踏まえ、理事館において書面で協議し、例年6月に開催していた総会については書面による開催とし、総会後に例年実施している記念講演会及び会員館同士の情報交換会についても中止とした。

また、令和2年度の協会の活動についても併せて協議し、対面で行う実行委員会の開催回数を減らし、活動内容を一部変更・縮小することとした。それに伴い事業費についても前年度繰越金で十分に賄える見込みとなったことから、令和2年度の会費の徴収は行わないこととした。総会概要は以下の通りである。

1. 総会の開催（書面表決）

- (1) 実施日 令和2年8月18日（火）～ 令和2年8月31日（月）
(令和2年9月8日（火）まで延長)

- (2) 出席（書面提出）数 90館（会員数121館中）

愛知県博物館協会規約第13条第4項に定める出席定数（会員の過半数）を満たし、有効に成立。

- (3) 表決結果

議題1 令和元年度事業報告及び決算報告	承認 90館	不承認 0館
議題2 令和2年度事業計画（案）及び予算（案）	承認 90館	不承認 0館
議題3 令和2年度における会費の取扱い（案）	承認 90館	不承認 0館
議題4 理事の一部変更及び実行委員会について（案）	承認 90館	不承認 0館

上記の通り全ての議題について原案通り出席会員の過半数の承認をもって決せられた。

（議題の内容については、「2. 議題」を参照。）

2. 議題

議題1 令和元年度事業報告並びに決算報告

1 研修会の実施

- (1) 愛知県博物館職員等研修会・東海三県博物館協会研究交流会

- ・「博物館と観光のちょうどいい関係」

日 時 令和元年11月6日（水） 午前10時15分～午後4時55分

会 場 斎宮歴史博物館講堂（研究会）

本居宣長記念館・松阪市歴史民俗資料館（見学会）

参加者 46名

基調講演 文化庁 文化財資源活用課

文化財保存科学室 文化財調査官 宇田川 滋正氏

事例発表 伊賀流忍者博物館 学芸員（館長補佐） 幸田友春 氏

博物館明治村 学芸・催事担当主任補佐 小野木克充 氏

奥の細道むすびの地記念館 学芸員 上嶋康裕 氏

- ・「博物館⇄教育機関 連携の取り組み」

日 時 令和元年12月12日（木） 午後1時～4時30分

会 場 愛知芸術文化センター12階 アートスペース A
参加者 57 名
講 演 美濃加茂市民ミュージアム 館長 可児光生 氏
事例報告 愛知県美術館 主任学芸員 藤島美菜 氏
名古屋市博物館 学芸員 星子桃子 氏
鳳来寺山自然科学博物館 学芸員 西村拓真 氏

(2) 部門別研修会

・「被災文化財保存処理ワークショップ」

日 時 令和元年 9 月 21 日 (土) 午前 9 時 40 分～午後 12 時
会 場 名古屋市博物館
参加者 14 名
講 師 陸前高田市立博物館 学芸員 浅川崇典 氏

※共催事業 シンポジウム「災害と文化財・地域文化」

日 時 令和元年 9 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時
会 場 名古屋市博物館
参加者 66 名 (内 愛知県博物館協会加盟館学芸員 16 名)
講 演 陸前高田市立博物館 主任学芸員 熊谷賢 氏
ディスカッション

パネリスト 愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室 主査 近藤佳世 氏
愛知県陶磁美術館 主任学芸員 田村哲 氏
中部大学人文学部歴史地理学科 教授 篠宮雄二 氏
陸前高田市立博物館 主任学芸員 熊谷賢 氏
陸前高田市立博物館 学芸員 浅川崇典 氏
名古屋市博物館 学芸員 鈴木雅 氏

・「博物館の開館とその後」

日 時 令和 2 年 3 月 17 日 (金) 午後 1 時 30 分～5 時 10 分
会 場 崇化館交流館 (講演会・事例報告・討論)、豊田市郷土資料館 (視察)
講演会 豊田市郷土資料館 学芸員 山田佳美 氏
事例報告 南山大学人類学博物館 学芸員 秦優莉香 氏
刈谷市歴史博物館 学芸員 長澤慎二 氏
豊橋市自然史博物館 学芸員 一田昌宏 氏

※新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため開催を見送った。

2 表 彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づく表彰 (表彰者 6 名)

3 印刷物の作成・配布

「おでかけガイド」 年 2 回発行 (秋・春)

4 協会報編集

「愛知の博物館」をWEB上にて公開（PDF版） 年2回発行（No.110、111）

5 ホームページの運営

6 災害発生時における支援活動要領に基づく災害対策訓練

（1）非常連絡訓練の実施 令和元年12月5日（木）実施

（2）災害対策ミーティング

日 時 令和元年9月26日（木）午後2時～

会 場 愛知県美術館 10階 収集審査室

出席者 トヨタ博物館 藤井麻希 名古屋市博物館 星子桃子
名古屋市科学館 鈴木雅夫 愛知県美術館 森美樹

7 その他会議等

・理事会及び総会、記念講演会

日 時 令和元年年6月19日（水）

会 場 愛知芸術文化センター

記念講演会 『『未開の知』に触れるーユニバーサル・ミュージアムとは何か』

講 師 国立民族学博物館グローバル現象研究部 准教授 広瀬浩二郎 氏

・実行委員会（7回開催）

平成31年4月18日（水） 会場 愛知県美術館 収集審査室

平成31年度事業計画と役割分担、非常連絡訓練のブロック割 他

令和元年5月16日（木） 会場 愛知県美術館 収集審査室

平成31年度理事会・総会の内容及び資料・役割分担、協会表彰 他

令和元年6月19日（水） 会場 愛知芸術文化センター

令和元年度 理事会・総会

令和元年7月26日（木） 会場 愛知県美術館 収集審査室

令和元年度理事会・総会開催報告、部門別研修会、新規加盟館 他

令和元年9月26日（木） 会場 愛知県美術館 収集審査室

職員研修会、臨時総会決議結果 他

令和元年10月30日（水） 会場 愛知県美術館 収集審査室

職員研修会、災害対策 他

令和2年1月24日（金） 会場 熱田神宮宝物館

部門別研修会、災害対策 他

令和2年3月3日（火）

※新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため開催を見送った。

議題 1 に対する意見及び事務局回答

意見 []内は館名	事務局回答
・元年度の繰越金が 180 万円ほど計上されている。市の財政当局からは、繰越額の多い団体に対する風当たりが強いことから、今後は 50 万円程度まで圧縮できるように活動をしていただきたい。[半田市立博物館]	令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のために事業を中止したことなどにより、繰越金が増えた。毎年の繰越金が多いことは、以前から理事会でも指摘されており、今年度繰越金を使って活動することで圧縮できるものと考えている。

議題 2 令和 2 年度事業計画（案）及び予算（案）

1 事業

（1）職員等研修会【担当：鳳来寺山自然科学博物館・博物館明治村・一宮市博物館】

企画展などの見学会、もしくは調査・研究、教育・普及、保存・修復のいずれかの研修会を 1 回実施。

時 期 令和 2 年秋以降

会 場 未定

（2）表彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。（該当者 2 名）

実施日 令和 2 年度書面総会において実施・記念品を郵送。式は令和 3 年度総会にて実施。

（3）印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」1 回 WEB 版（電子媒体発行）

【担当 春期：徳川美術館・豊橋市美術博物館・知多市歴史民俗博物館】

・「おでかけガイド」1 回発行

【担当 春期：岡崎市美術博物館】

（4）ホームページの運営

【担当：昭和美術館・刈谷市歴史博物館・豊田市郷土資料館・熱田神宮宝物館・

あま市美和歴史民俗博物館・災害対策担当館 5 館】

印刷物の掲載・活動内容更新

加盟館同士の情報交換用ページの開設等の機能拡充

（5）災害発生時における支援活動要領にもとづく災害対策訓練

【担当：名古屋市科学館・トヨタ博物館・愛知県美術館・愛知県陶磁美術館・名古屋市博物館】

非常連絡訓練の実施

非常連絡体系の再調整・実施方法の再検討

（6）その他

・令和 2 年度東海地区博物館連絡協議会および日本博物館協会東海支部総会

開催時期 6 月下旬

会 場 書面にて開催（岐阜県）

・令和 2 年度東海三県博物館協会研究交流会

開催時期 未定

会 場 未定

2 会 議

(1) 総 会

令和 2 年 8 月下旬

書面にて実施

(2) 理事会

令和 2 年 7 月下旬～8 月上旬

書面にて実施

(3) 実行委員会

随時 年間 3 回程度

議題 2 に対する意見及び事務局回答

意見 []内は館名	事務局回答
・繰越金を当てて事業運営をしていただけることはありがたいが、このようなことはよろしくないと思われるので、事業に見合った予算を組んでいただきたい。[半田市立博物館]	皆様のご意見をお聞きしながら、理事会で検討する。

議題 3 令和 2 年度における会費の取扱い（案）

愛知県博物館協会規約第 5 条の規定にかかわらず、令和 2 年度は、会費の納付を要しないものとする。

議題 3 に対する意見及び事務局回答

意見 []内は館名	事務局回答
・会費の納付を要しない理由を明記して下さい。例) 新型コロナウイルス感染症拡大による事業見直し、など。[蟹江町歴史民俗資料館]	総会資料「令和 2 年度愛知県博物館協会総会 書面表決にあたっての補足説明 令和 2 年度愛知県博物館協会の活動について」(令和 2 年 8 月 18 日付け)の 4 に記載しているので、確認されたい。
・今後は、会費の引き下げも視野に入れて検討していただきたい。[半田市立博物館]	皆様のご意見をお聞きしながら、理事会で検討する。

議題 4 理事の一部変更について

理事のうち 1 名について、でんきの科学館館長から刈谷市歴史博物館館長に変更する。

議題 4 に対する意見及び事務局回答

意見なし

3. 報 告

・愛知県博物館協会加盟館の動向について

新規加盟 中京大学スポーツミュージアム、三河武士のやかた家康館

加盟館数：121 館（令和 2 年 8 月 31 日現在）

・東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会について

令和 2 年度、東海地区博物館連絡協議会は岐阜県が当番館、東海三県博物館協会研究交流会は愛知博物館協会が担当することとなった。

・協会表彰について

下記の方々を愛知県博物館協会より永年の業績に対して表彰。例年総会で行う表彰者紹介は令和3年度の総会にて実施予定。

杉浦 裕幸 氏（功労賞） 豊田市民芸館 主査

加藤 貞亨 氏（功労賞） 新城市鳳来寺山自然科学博物館 館長

4. その他の意見等及び事務局回答

意見 []内は館名	事務局回答
・新型コロナウイルス感染症対策として、開閉館、再開の情報、ウイルス対策、イベントの開催方法などについて県内博物館の状況を把握できる場（情報共有できる場）があると非常に参考になると思う。[碧南海浜水族館]	会員へのご連絡や会員同士の情報共有を円滑に行えるよう、メールアドレスをご登録いただくとともに、HPの機能を充実させていく予定である。
・決算・予算のところで記載したように、財政当局からは「会費等の収入があるから無理やり事業をするということのないように」と言われている。したがって、繰越金が多く発生することのないよう、会費の見直しや事業縮小なども検討する必要があるのではないかと思われる。[半田市立博物館]	皆様のご意見をお聞きしながら、理事会で検討していく。
・規約を読む限り、会長は年1回総会を招集する必要があり、会長若しくは理事会の権限で招集せずに書面で行うことはできないとし、解釈されないと思う。本務御繁多の中、この結論に至られたのだと重々理解しているが、せっかく実施した本書面表決の効力の有無を問われるような、手続き上の瑕疵を指摘されないためには、会員全員に書面表決の是非を問うた上で実施すべきだったのではないかと考える。今後のことを考慮し、御面倒だとは思いますが、規約改定を検討されるべきかと考える。 [みよし市立歴史民俗資料館]	当協会は、会員数120館の大規模な組織であり、会の意思決定の全てを全会員が出席する総会で行うのは機動的でなく、理事会及び実行委員会を設け、各会員の意見を各地区の理事が集約し、これを理事会や実行委員会に持ち寄る形で運営している。 規約第10条第1項に規定する通常総会の招集は、本来は直接集まって開催することを想定しているものだが、書面やオンラインによることを妨げるものではないと解している。他の類似の会においても、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、同様の規定のもとで書面開催を行っており、規約の改正は必要ないと考えている。 また、このたびの理事会及び総会の書面開催は、いずれも事前に理事間で協議した上で行っており、手続きに瑕疵はないと考えている。 今後、会員へのご連絡や会員同士の情報共有を円滑に行えるよう、現在メールアドレスの登録をお願いしているところであり、また、HPの機能についても充実させていく予定である。

(加藤多美、名古屋科学館総務課庶務係/愛知県博物館協会 事務局)

令和2年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告

令和2年度の東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部理事会・総会について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止という観点から、標記理事会及び総会の現地開催（美濃加茂市民ミュージアム）を省略し、各議案の議決を書面にて行うこととなった。

書面議決への変更及び中止となった事業は下記の通りである。

〈開催日時〉 令和2年7月10日（金）12時30分～18時45分

〈会場〉 美濃加茂市民ミュージアム、シティホテル美濃加茂 ココット

〈内容〉

- 理事会 12:30～13:15 →書面表決
- 総会 13:30～14:20 →書面表決
- 表彰規程に基づく表彰 →中止
- ミニシンポジウム 14:30～16:00 →中止
- 情報交換会 17:15～18:45 →中止

〈概要（書面表決：令和2年8月21日）〉

書面表決による議題は、①令和2年度理事及び監事の専任について、②令和元年度事業報告及び決算報告について、③令和2年度事業計画及び予算案について、④令和3年度開催県について、であった。

①令和2年度理事及び監事の専任について、愛知県は、徳川美術館、名古屋市博物館の他、新たに愛知県陶磁美術館が理事館となり、同館は事務局を兼任する。

③令和2年度予算案について、コロナ禍での事業の見直しが必要であり、今年度の活動縮小に伴う変更がなされていないことから反対であり、かつ本来であれば理事会・総会を分けて開催し、各議題についての賛否表明は議題ごとに行うべきとの意見を愛知県として表明した。東海地区博物館連絡協議会事務局から、予算案は準備段階のものであり、コロナ禍で中止となり不執行になった金額については決算にて反映させ、会費の徴収については会則に則るものである、理事会の開催について、会則に総会と分けて開催する規程がないとの回答があった。書面表決書による賛成・反対の表明数について、賛成4（静岡県、山梨県、神奈川県、岐阜県）、反対1（愛知県）の賛成多数となり議題は全て承認された。

④令和3年度開催県について、東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部理事会・総会は、神奈川県が開催県である。

（田畑潤、愛知県陶磁美術館 学芸員）

令和2年度 愛知県博物館協会 部門別研修会 開催報告

部門別研修会1 「コロナ禍での博物館活動」

令和3年3月12日（金）に名古屋市美術館にて部門別研修会が開催された。

今回の研修は「コロナ禍での博物館活動」をテーマに4館の事例発表と名古屋市科学館の視察を行い、39名が参加した。

事例報告1 『『コロナ禍での博物館活動』愛知県陶磁美術館の事例報告』

田畑潤氏（愛知県陶磁美術館学芸員）

新型コロナウイルス関連について、国・愛知県・愛知県陶磁美術館それぞれの経緯や動向を、発生から現在に至るまで時系列にまとめた表を元に自館の博物館活動についてご紹介いただいた。

感染予防対策の話の中には、初期の頃は緊急事態宣言を受け休館し、その後いち早く開館したこともあり、他館からどのような対策をしているか、というような問い合わせが数多くあった。また、現在まで、対策もさまざま変化してきているが、初めのころは手探りだった。

展覧会等各種事業への影響については、国や県の動向によって開会式、講演会をはじめ、ギャラリートークやワークショップなどの中止・変更があった。また、中止となった展覧会や会期変更に伴う臨時企画の展覧会もある。入館者数が減少し、特に団体客のキャンセルが相次いだ。その中で、動画共有サービスを使った番組「ニコニコ美術館」では、1万6千人を超える視聴者数で、普段行っている広報活動を考えると非常に大きな数となった。また、来館者の中には、視聴して来館したという意見もあり、より多くの人に愛知県陶磁美術館が周知されたという結果に繋がったのではないかと。

また、陶芸体験等ができる陶芸館では、令和2年6月2日より、事前予約制で再開し、密にならない対策などを行っている。同じく一時中止していた陶芸教室関連も令和2年11月以降募集している。

また、例年100名を超える人気の企画である「復元古窯焼成『織部を焼こう』」では、「在宅陶芸『おうちで織部』」も開催し、自宅で作った作品を持ち込んで窯に入れるという従来なかった参加方法も取り入れた。その際には、愛知県陶磁美術館公式 YouTube チャンネルを使用し、職員が作陶や窯の話などについて紹介を行った。また、こういったことから現在は SNS にも力を入れている。

教育普及事業や団体連携事業において、展示会事業と同様に縮小または中止となるものが多く、さらにどの館でも課題となっているボランティア活動では、展示解説やガイドといった対面で行う活動は現在も休止しているが、対面以外の作業などは再開している。

コロナ禍の影響は、展示会事業をはじめとしたすべての活動に影響が出た反面、手探りながらも状況に応じた対応や新しい試みが生まれる機会となった。

事例報告2 『『贅沢な対話』開催顛末』

湯谷翔悟氏（岡崎市美術博物館学芸員）

岡崎市美術博物館で行われた、館の特長を活かした実験的な企画展示「贅沢な対話」についてご紹介いただいた。

「贅沢な対話」の特徴

1. 厳選した展示点数
2. 美術・博物の枠を無くした構成
3. 2週間ごとの展示替え（担当も交代）
4. 開放的な展示空間
5. ほの暗い展示空間

6. パネル、キャプションを設置しない

「贅沢な対話」構成の背景として、消極的理由と積極的理由がある。消極的理由は、なんとしてでも博物館を開館をするようにと指令が出たことである。しかし、岡崎市美術博物館には常設展示がなく、本来開催予定であった企画展は来年度に延期、予算も繰り越しとなってしまった。開催までの時間も残り約1か月という状況で、新たに企画展を計画・設営する必要があった。そこで展示件数を絞って設営も省力化、担当を交代することで負担を分散させることとした。積極的理由として、1つ目に館の特長を展示に活かしたいという願望があった。岡崎市美術博物館には可動壁で区切ることのできる広い空間や作品を浮かび上がらせる照明効果があり、そこを展示で活かした。また、美術と博物館を扱う館ということで、それぞれのものが並ぶ独特な構成をつくりだした。2つ目の理由は、普段出せないものを出したいという願望である。展示のコンセプトに合わないという理由で長年収蔵庫に眠っていたものをこの機会に紹介した。3つ目の理由は、とにかく展示物を見て欲しいという願望である。パネル、キャプションが無く、少ない点数で展示することで一つ一つじっくり見てもらえるようにした。

「贅沢な対話」は単なる穴埋めではなく実験的な要素もあった。コロナが感染拡大している中、無料で開館するという状況下だからこそ多少挑戦的な展示ができ、成果も得られた。岡崎市美術博物館の収蔵資料の幅広さを活かす、また、BGMを導入するなど普段と違う方向性の展示を試すことができた。また、照明で展示物を浮かび上がらせる演出により、普段から暗いと言われていた展示室を強みに変えられることがわかった。そして、美術・博物館が同居している館だからこそ、それらを融合させることで新たな魅力を生み出せることがわかった。

コロナにより陥った館の危機的状況をあえて利用し、今だからこそできる取り組みをすることで、館のさらなる可能性を知ることができた。館の弱点と言われていた部分も個性として活かすことで魅力に変えることができた。

事例報告3「コロナ禍におけるINAXライブミュージアムの取り組み」

尾之内明美氏（INAXライブミュージアム館長）

尾之内館長には、INAXライブミュージアム（以下、ミュージアム）のコロナによる影響や対策、コロナ禍で生まれた新しい取り組みについてご紹介いただいた。

ミュージアムでは、(株式会社LIXILによる)感染者発生時の対応ガイドラインにより3月2日から7月19日までの約5か月間の休館となった。開館後も体験教室の規模縮小や団体客の受け入れ見合わせなど、コロナによる影響は今もなお続いている。

コロナ禍で生まれた取り組みとして、体験教室の規模縮小をフォローするために、体験内容の素材キットの通信販売を開始したり、オンラインによる活動を精力的に行っている。

体験教室の素材キットは、従来教室で行っていた「光るどろだんご」やタイルアート制作の素材が内容となっており、タイルアート製作のタイルには新しい形も追加した。

オンラインでの活動として、まず、例年ミュージアムで開催している「光るどろだんごコンテスト(全国大会)」を行った。例年であれば、参加者は会場に集まって1時間半ほどでどろだんごを作成するが、自宅で好きなだけ時間をかけ納得のいく作品に仕上げていただき、写真投稿にて応募を募った。例年以上の力作が多くみられ、通信販売を行った「光るどろだんご」キットの購入数も延ばすことができた。

また、北海道博物館が3月に開設した「おうちミュージアム」に4月後半より参加している。「タイルぬりえシート」及び「折り紙けんちく『常滑まちあるきシリーズ』」をホームページに掲載し、ダウンロードして館外でも楽しめるコンテンツを発信した。

さらに、オンライン上でミュージアム内の「世界のタイル博物館」を360°自由に散策できる3DVRを公開し、併せてイベントも実施した。イベントは子ども向けにクイズを設けたり、学芸員によるテレビ会議シ

システム上でのガイドを行った。ただ、3DVR スキャンデータをオンライン上で公開することで、リアルな来館者が減少する懸念も考えられるため、期間を設けた上での公開であった。他にも、オンラインイベントは参加者像が見えにくくレベリングが困難であったり、オンラインでの進め方などのオペレーション確立の難しさなどの課題点も見つかった試みであった。

今後コロナ禍が続くようであれば、オンライン上での活動の収益化やコンテンツの他館との差別化も視野に入れる必要がある。それにはデジタルスキルを持った人材や設備、費用の確保も課題として挙げられる。博物館に来てもらうことを第一義に考えてきたわれわれ博物館業界において、博物館やコレクションの魅力を伝える最良の手段をあらためて省察するよい機会となった。

事例報告 4「コロナ禍での博物館活動」

小林修二氏（名古屋市科学館学芸員）

名古屋市科学館での新型コロナウイルスへの対応とコロナによって新しく生まれた事業についてご紹介いただいた。

名古屋市科学館ではハンズオンの展示が非常に多いことから、接触感染防止のために様々な策が講じられた。緊急事態宣言明けには、換気能力があり接触が少なく人と人との間隔を開けることができるプラネタリウムから再開した。次に対策がとれる展示品を徐々に再開した。対策方法は、手洗い手指消毒の徹底、定期的な清掃消毒という基本的なことに加えて、タッチパネル等高頻度で触れるところへの抗ウイルスシートの使用である。この抗ウイルスシートは銅イオンが空気中の水と反応することで活性酸素を発生させウイルスを除去していると考えられており、ウイルスを不活性化していることが科学的に検証されたものを選んで導入している。このような対策で科学館では現在 9 割の常設展示を再開している。

名古屋市科学館では今回新たに始めた取り組みとして YouTube やテレビ会議システムを使ったオンラインによる教育普及活動がある。YouTube は観望会やサイエンスショーの裏側など 50 本ほど投稿している。対面式の観望会の場合、望遠鏡の数に限りがあり、短時間で多くの人に対応しきれないなどの問題点があった。しかし、YouTube にすると多数の方に同時に見てもらうことができ、解説も加えやすい。そのため多くの方に視聴していただくことができた。テレビ会議システムを使用した科学実験教室では、YouTube とは違い、参加者と会話し反応を見ながら進められるという強みがある。その後ノウハウも蓄積できたところでサイエンスライブとして科学実験のショーなども開催することができた。今後の課題として、現状オンラインでは得られない収入をどうしていくのかが挙げられる。

名古屋市科学館では感染症対策として基本的な対策を忠実に押さえつつプラスアルファで対策を行い、多くの展示が以前同様に体験できるようになっている。オンラインで行う教育普及活動では、ツールの強みを活かすことで対面で行っていた時とは違う新たな魅力を生み出すことができた。

今回の研修会では、新型コロナウイルス感染拡大による博物館の活動への影響やその対策、そしてコロナ禍で生まれた新たな取り組みについて具体的なお話を伺うことができた。ウィズコロナ、アフターコロナでの博物館活動に活かせる情報を得る大変貴重な機会であった。

最後に、事例発表をしてくださった田畑様、湯谷様、尾之内様、小林様、会場設営と運営等お世話になりました名古屋市美術館、名古屋市科学館に御礼申し上げます。



愛知県陶磁美術館 田畑潤 学芸員



岡崎市美術博物館 湯谷翔悟 学芸員



INAX ライブミュージアム 尾之内明美 館長



名古屋市科学館 小林修二 学芸員

(吉川ひとみ、一宮市博物館 学芸員・谷川遙、博物館明治村 学芸員
西村拓真、鳳来寺山自然科学博物館 学芸員)

※なお部門別研修会 1 以外の令和 2 年度の研修会については、新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、開催を見送った。

表紙館のご紹介

■三河武士のやかた家康館

【開館時間】

9:00～17:00（入館は30分前）

【休館日】

年末（12月29日～31日）

【入館料】

大人（中学生以上）360円

小人（5歳以上）200円

※市内に住所を有する中学生以下の方、市内に住所を有する65歳以上の方及び、Withカードを所持する方は無料。
身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する方及びその介助者は無料。

【所在地】

〒444-0052 岡崎市康生町 561-1（岡崎公園内）

TEL 0564-24-2204

<https://okazaki-kanko.jp/okazaki-park/feature/ieyasukan/top>

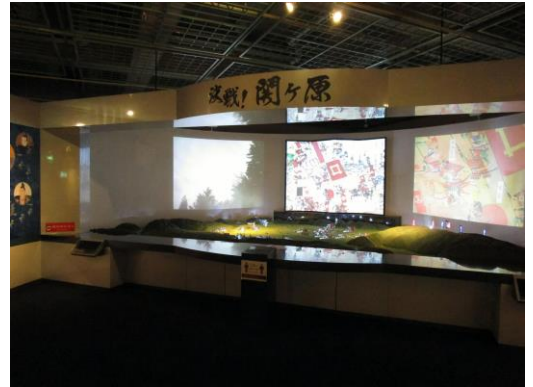
【交通手段】

公共交通機関で...

- ・名鉄「東岡崎駅」より徒歩15分
- ・愛知環状鉄道「中岡崎駅」より徒歩15分
- ・名鉄東岡崎駅よりバス「大樹寺行き」乗車
→「康生町」下車→徒歩5分
- ・JR 岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車
→「康生町」下車→徒歩5分

車で...

- ・東名高速道路「岡崎 I.C.」より名古屋方面へ3km
（国道1号沿い）



可動式ジオラマ「決戦！関ヶ原」



戦国武士の体験コーナー

「愛知の博物館」 No.112

発行日 令和3年3月31日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄二丁目17番1号

名古屋市科学館 内

TEL 052-201-4486